

こくたか 連携だより

2021年発行
第168号
1月号

カラコエ (11月～5月)

… 花言葉 …

「幸福を告げる」
「たくさんの小さな思い出」
「あなたを守る」

新年のあいさつ 2

地域医療支援・連携センター長 佐藤 正通

診療看護師(JNP)の紹介 3

診療看護師 村田 美幸

病棟紹介 西5階病棟 4

西5階病棟看護師長 武井 まどか

栄養だより	5
臨床検査科だより	6
診療放射線科だより	7
がん地域連携クリニカルパス	8
相談支援センターのご案内	9
医師紹介コーナー	10
地域医療連携登録医のご紹介	11
セカンドオピニオンのご案内	12～13
外来診療担当表	14～15
院長室だより/行事などのお知らせ	16

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36

代表 (TEL) 027-322-5901

URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)

(TEL) 027-322-5835

(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

新年のあいさつ

地域医療支援・連携センター
センター長 佐藤 正通



令和三年、あけましておめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

諸兄におかれましては、日頃から地域医療の担い手として、そして医療連携の主導者として、格別のご配慮とご支援を頂戴し、ありがとうございます。紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。令和三年となりました本年におきましても、御指導、御鞭撻下さいますよう、切にお願い致します。

令和二年と言いますと、日本国のみならず、全世界的に新型コロナウイルス感染拡大によるコロナ禍につきると思います。その甚大な影響は医療現場だけではなく、人々の生活様式や世界経済にも見ることができます。つまり人類の文明や、地域に育った文化継続に一定のインパクトを与える事象であると評することができると思います。過去からこのような事例を引き合いに出しますと、ちょうど100年前に日本を含めた全世界において拡散したスペイン熱があり、発生と思しき時節から3年程度で終息に至りました。ウイルスの特性やこれを取り巻く人間社会構造、人口分布・動態、交通や流通手段などを、100年前と比べますと大きな違いがあるかと思いますが、現在の科学技術をもってしても、発生から1年経過した現時点においてなお終息には至っておりません。社会がコロナ禍前の状態へ復帰するのには、つまり人々の心の中から恐

怖が消え去るには、1世代分の月日が必要とされると思います。我々現代に生きる者はこの教訓をしっかりと記録し、後世に伝える責務を背負ったこととなります。とは言いましても、現在もなお、同ウイルス感染拡大、そして同ウイルス感染症との戦いは続いております。高崎地区におきましては、高崎総合医療センター、高崎医師会そして高崎市、並びに群馬県広域におきまして、保健所や医師会による相談センターの設置、発熱者外来や接触者外来、PCR外来といった最前線への人的、物的資源投入などにより、新型コロナウイルス包囲網を形成しております。また入院診療におきましても、令和2年10月以降には、地域内もしくは県内多くの医療機関で入院応需可能な状態にまで整備されてきております。そして何よりも社会に求められるのは感染拡大防止に向けた、誰にでもできる感染予防策です。また、今年初旬には日本全国民へ向け、ワクチンが無料で給付される予定となっております。このような時代におきましても明日への希望を胸に「明日は今日よりも良くなる」と信じて、医療者として患者と共に生きて参りましょう。今年も宜しく申し上げます。

診療看護師 (JNP) の紹介

「見る」と「診る」

両方の視点を持って

診療看護師 村田 美幸

こんにちは。診療看護師の村田美幸です。皆さんは、診療看護師をご存知でしょうか？ 診療看護師とは、5年以上の臨床経験を積んだ後、大学院修士課程で2年間のナースプラクティショナー (Nurse Practitioner : NP) 教育のカリキュラムを修了し、年1回行われるNP試験に合格した看護師です。

大学院では、現役医師による診断と治療に関する講義と、17週間に亘る臨床実習では、医師とすべての行動を共にし、医師サイドから患者を診るトレーニングを行います。縫合実習や客観的臨床能力試験 (Objective Structured Clinical Examination : OSCE) も行われます。

2008年から養成が開始され、現在では全国に487名の診療看護師が、病院だけでなく在宅医療や離島・僻地医療の診療支援を行っています。群馬県内では6名が病院に所属し、診療支援を行っています。

当院には2名の診療看護師が診療部に所属し、救急科と心臓血管外科で診療支援を行っています。

救急外来を受診して緊急入院する患者さんや、心臓・大血管の外科的治療を必要とする患者さんは、病状が重篤であることが多く、検査や治療・処置をすぐに開始しなければ、命に関わることがあります。そんな時には医師と共に、治療や処置、その後の患者さんの全身管理を行います。医師と常に情報共有しているので、医学的知識を持った看護師が、患者さんやご家族の視点でわかりやすく説明することもできます。入院から退院まで診療看護師は継続的に関わりますので、ちょっとした変化に気づき、タイムリーな医療介入や、他職種との連携や調整の役割も果たしています。

私たちは、末梢挿入式中心静脈カテーテル (Peripherally Inserted Central Catheter : PICC) の挿入と管理を行っています。PICCは長期間点滴を必要とする場合や、高カロリー点滴、抗がん剤等の投与に適しています。入院患者さんだけでなく、外来患者さんにも対応可能ですので、持続点滴等でお困りの際は是非ご相談下さい。

診療看護師は一部の医療行為を担うだけでなく、看護師経験に加えて、患者さんを「診る」トレーニングを積んで、日々研鑽の毎日です。

全国的にはまだ少人数の診療看護師ですが、医師や他の医療スタッフと協働し急性期医療から在宅医療まで、患者さんにご家族に寄り添った医療を提供できるよう頑張ります。今後とも温かいご支援とご指導を宜しくお願い致します。



病棟紹介 西5階病棟



西5階病棟看護師長 武井 まどか

地域の皆様にはいつもお世話になっております。
西5階病棟は、2020年3月23日より高崎総合医療センター別館に新たに開棟しました。新館の最上階に位置し、病棟ラウンジの大きな窓から四季折々の景色と、高崎市のシンボルである百衣観音が見え、闘病生活の一時の癒しとして人気があります。

対象となる診療科は、乳腺・内分泌外科、眼科、耳鼻咽喉科、眼形成眼窩外科、歯科口腔外科、皮膚科、形成外科、脳神経外科、脳神経内科、4月より新たに呼吸器外科が加わり全10診療科となり、当院で最も多くの診療科を担う病床数40床の混合病棟です。患者さんの疾患も様々で、手術療法を受ける急性期からリハビリを中心とした回復期・慢性期の患者さんまで幅広くケアを行っています。そのため、西5階病棟の

スタッフは多くの診療科に対応するための、専門的知識と技術が求められる病棟です。

手術療法を受ける急性期の患者さんの多くは、入院から3～7日前後の短期間で退院されます。短い入院期間の中で、患者の皆様が快適な入院生活を送り、安心して手術が受けられるよう患者サポートセンター・外来と連携し、入院前から退院後まで継続した看護が行えるように取り組んでいます。

また、リハビリを中心とした脳神経外科・脳神経内科の回復期・慢性期の患者さんは、セルフケア能力の向上と残存機能の維持に向け、栄養サポートチームや摂食・嚥下サポートチーム、リハビリを行う理学療法士や言語療法士、社会復帰に向け環境調整を行うソーシャルワーカーなど、多職種と協働し連携したケアを実践するチーム医療が不可欠となります。今後もより一層チーム力を高め、それぞれの職種が役割を果たしながら、スピーディーにかつ安全・安楽な医療が提供できるよう、スタッフ間の協力体制を強化していきたいと考えています。

西5階病棟では、患者さんが早期に社会復帰し、その人らしく過ごせるように、患者さんやご家族と共に生活や療養について考え支援をしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



栄養だより

適度な飲酒を 心がけよう



外出や集まりを控えたことで

飲み会等の飲酒の機会が減った反面、

家にいる時間が増えたことで飲酒量が多くなった方もいるのではないのでしょうか。厚生労働省の示す指針では、節度ある適度な飲酒は1日平均純アルコールで20g程度とされています。

目安量

お酒の種類	ビール (500ml)	日本酒 (1合 180ml)	焼酎 (0.5合 90ml)	ウイスキー (ダブル 60ml)	ワイン (1杯 120ml)
アルコール度数 (%)	5%	15%	25%	43%	12%
純アルコール量 (g)	20g	22g	18g	20g	12g

また、純アルコール量(g) は、下記の式で計算できます。

飲酒量(ml) × アルコール度数(%) × アルコールの比重0.8

厚生労働省のホームページで提案されている「健康を守るための12の飲酒ルール」を簡単に紹介します

1 飲酒は1日平均2ドリンク以下

2 女性・高齢者は少なめに

3 赤型体質も少なめに

少量の飲酒で顔面紅潮や吐き気や動悸をきたす人(赤型体質)はアルコールの分解が遅く、がんや様々な臓器障害を起こしやすいといわれています。

4 たまに飲んでも大酒しない

5 食事と一緒にゆっくりと

空腹時に飲んだり一気に飲んだりすると、アルコールの血中濃度が急速に上がり、悪酔いしたり場合によっては急性アルコール中毒を引き起こします。

6 寝酒は極力控えよう

寝酒(眠りを助けるための飲酒)は、睡眠を浅くします。

7 週に2日は休肝日

週に2日は肝臓をアルコールから開放してあげましょう。そうすることで依存も予防できます。

8 薬の治療中はノーアルコール

アルコールは薬の効果を強めたり弱めたりします。

9 入浴・運動・仕事前はノーアルコール

飲酒後に入浴や運動をすると、不整脈や血圧の変動を起こすことがあり危険です。

10 妊娠・授乳中はノーアルコール

妊娠中の飲酒は胎児の発達を阻害し、胎児性アルコール症候群を引き起こすことがあります。

11 依存症者は生涯断酒

依存症は飲酒のコントロールができないことがその特徴で、断酒を続けることが唯一の回復方法です。

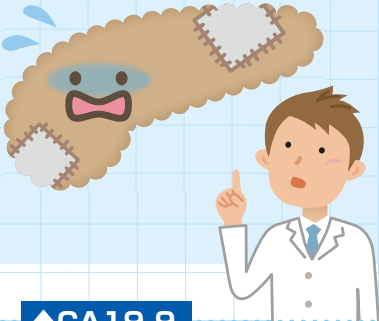
12 定期的に検診を

定期的に肝機能検査などを受けて、飲み過ぎていないかチェックをしましょう。

※病気治療のため禁酒が必要な場合もありますので、**治療中の方は必ず主治医に相談**しましょう。

※**お酒は20歳になってから**にしましょう。





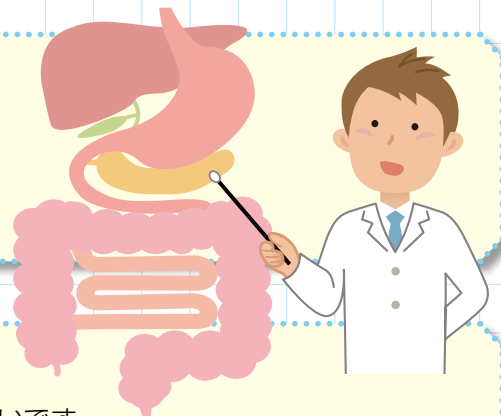
膵癌は早期診断が困難であり、腫瘍マーカーによる高危険群のスクリーニングに期待が寄せられています。主に**CA19-9**、**SPan-1**、**DUPAN-2**、**CEA**、**CA50**などの項目を組み合わせる検査を行います。これらの項目は胆道系や消化管の腫瘍マーカーとしても使用され、以下にそれぞれの特徴をまとめます。

◆CA19-9

陽性率は膵癌と胆道癌で80%以上、ほかの消化器癌では30%前後です。そのほか、卵巣腫瘍などの婦人科系の悪性腫瘍でも上昇がみられることがあります。また、慢性膵炎や良性肝疾患でもある程度の陽性率を認めます。早期癌での陽性率は低くスクリーニングには不向きで、治療再発のモニターに使用されます。日本人の5～10%に存在する血液型Le^a陰性の場合CA19-9は上昇せず偽陰性となるため注意が必要です。この場合後述するSPa-1やDUPAN-2は高値を示すので組み合わせる測定することが望ましいです。

◆SPan-1

CA19-9と同様に膵・胆道系の腫瘍マーカーで、各種疾患に対する陽性率もCA19-9と類似しているため組み合わせる測定する意義は少ないです。しかし、前述のとおり血液型Le^a陰性の場合に偽陰性となる影響を受けないため、SPan-1での評価が有用となります。



◆DUPAN-2

膵癌に対する陽性率は60%前後です。血液型Le^a陰性例では高値となりやすいため、CA19-9と組み合わせる測定することが望ましいです。良性肝疾患に対する陽性率が高く、肝硬変で50%、急性肝炎でも50%程度の陽性率を示します。これは胆汁のうっ滞が関与していると考えられ、ALPやγ-GTPと相関を認めます。

◆CEA

大腸癌、膵癌で50～60%の陽性率ですが、陽性例はほとんどが進行癌であり、早期診断の有用性は少なく、手術後や化学療法後の経過観察に利用されています。消化器癌以外には肺癌、甲状腺癌、乳癌、胚細胞腫瘍など広範囲な腫瘍マーカーとして認められています。喫煙者、肺結核などの良性肺疾患、慢性肝炎、肝硬変、胆道疾患、腎不全、糖尿病などでも上昇することがあります。

◆CA50

消化管、膵管、胆管、唾液腺、前立腺、乳腺、気管支などの正常組織に微量ながら存在し癌化に伴いその発現量が増加し、周囲の間質に遊離することで血清値が上昇すると考えられています。膵・胆道系を中心とした消化器癌のスクリーニング、治療効果、再発のモニターに有用です。

医療機器共同利用のご案内

当センターで保有しています医療機器を、地域の医療機関の先生方もご利用になれます。患者さんの診療および治療にお役立てください。

心臓のCT検査では、どんなことがわかりますか？

心臓へ血液を送っている冠動脈の動脈硬化による狭窄や石灰化の有無、程度を調べる検査で、冠動脈の狭窄が原因で起こる心筋梗塞や狭心症などの診断やリスク評価ができます。単純CT検査と造影CTの2種類があり、前者は造影剤を使わずに撮影を行い、心臓の血管の石灰化を評価します。石灰化の量と動脈硬化の進行具合はある程度比例しますので、石灰化が多ければ、心筋梗塞のリスクが高いという判断ができます。また、冠動脈の狭窄や動脈硬化がどこにどの程度存在するかを実際に確認するには、造影剤を血管から注入して撮影する造影CT検査を行います。

心臓CT検査を受けるメリットは何ですか？

心臓CT検査自体のメリットですが、従来は狭心症などの冠動脈疾患の疑いがある場合、心臓に管を挿入するカテーテル検査でしか判別ができませんでした。カテーテル検査は長時間に及ぶため入院が必要であり、痛みを伴うなど負担が大きいという問題があります。しかし、心臓CT検査は痛みがほとんどなく、体への負担が軽減できます。従来よりも低被ばくで造影剤の量も少なく高解像度の鮮明な画像撮影が可能で、撮影後の画像を処理することで、さまざまな画像診断が可能です。

どんな人が、心臓CT検査を受けたほうが良いですか？

階段を上るときや急いで歩いているときに胸が苦しいなどの症状がある人は、すぐにでも検査を受けることをお勧めします。しかし、冠動脈に狭窄はなくてもリスクの高い動脈硬化のある人は、何の前触れもなくある日突然、心筋梗塞になることも少なくありません。家族歴のある人、高血圧や糖尿病、脂質異常症、喫煙者、メタボリックシンドローム、長時間労働などの強いストレス、内臓脂肪の多い人や睡眠時無呼吸症候群などは、心臓疾患の高リスク要因ですから、心当たりのある人は心臓CT検査を受けて、血管の石灰化や動脈硬化の程度などを調べ、自分のリスクをしっかりと知っておくのは大切なことです。



患者さんはまずはかかりつけ医にご相談ください

【医療機関よりの予約・お問い合わせ】

高崎総合医療センター 地域医療支援・連携センター

TEL 027-322-5835 (医療機関専用ダイヤル)

FAX 027-322-5925



がん地域連携クリニカルパス

(がん地域連携パス)

をご存知ですか？

がん地域連携クリニカルパス(がん地域連携パス)とは、患者さんの病気にあわせた治療に関する連携計画書のことです。当センターのようながん診療連携拠点病院の専門医と地域の連携医療機関のかかりつけ医の2人が主治医になり、がん地域連携パスを用いて、連携しながらあなたの診療を行います。

がん診療連携拠点病院(専門医)

高崎総合医療センター



- 手術
 - 化学療法
 - 放射線治療
 - CT/MRI/内視鏡 など
- 緊急時の対応

※ 節目に受診

がん地域連携パス手帳
(患者さんのカルテ)



地域の連携医療機関

かかりつけ医



- 日常生活の管理
- 定期的な受診
- 採血 ●投薬
- 異常の早期発見

がん地域連携パスで
つながっています

薬局



がん地域連携パス手帳
(患者さんのカルテ)



群馬県内のがん診療連携拠点病院では、地域の連携医療機関と協力して「がん地域連携パス」を活用し、患者さんにわかりやすく安全で質の高い医療を提供します。

相談支援センターのご案内

2020年3月の別館の完成に伴い、相談支援センター（相談窓口、がん相談支援センター）を、別館1階の「患者サポートセンター（15番）」内に移転しました。

相談支援センターでは、入院・外来を問わず、患者さんやご家族の心配事・お困りごとについて、専門の相談員（看護師、ソーシャルワーカー）がお話を伺い、支援させていただきます。お気軽にご相談ください。

相談窓口

例えばこんなとき

- 診療や看護に関すること
- 退院に関すること
- 医療安全に関すること
- 医療費や支払いに関すること
- 接遇に関すること

など



別館1階、患者サポートセンター（15番）
受付時間 平日 8:30～17:15

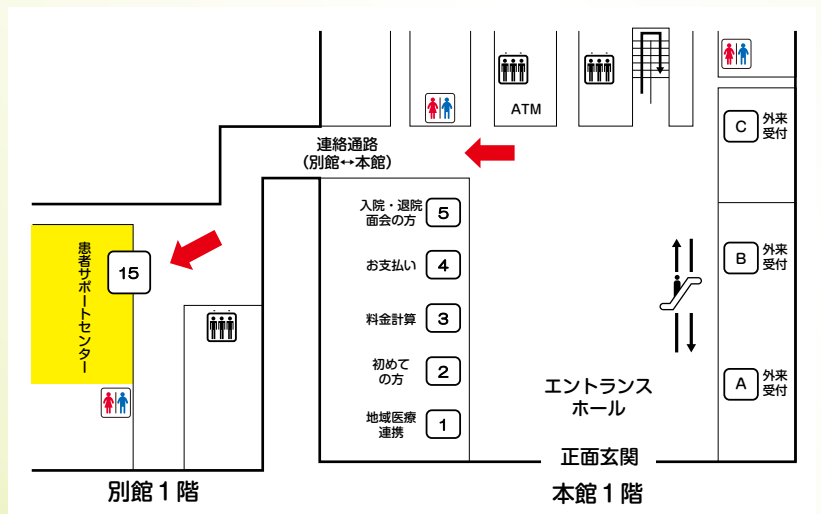
がん相談支援センター

例えばこんなとき

- 今後の検査や治療のことが不安
- 介護保険など在宅ケアに関することを相談したい
- セカンドオピニオンについて相談したい
- 緩和ケアに関する情報を知りたい
- 仕事はどうしたら良いか

など

電話相談の場合、「がん相談希望」とお伝えください。
027-322-5017（がん相談直通電話）



医師紹介 コーナー

当センターの
医師を
紹介します!



2020年10月に赴任してきました田中志岳です。

脳神経外科医であり、主に直達手術（腫瘍、血管障害、外傷など）を中心に行っています。ただ、手術は侵襲的治療であるためあくまでも最終手段であり、基本的には極力避けるべき治療法であるという考えのもと診療を行っています。

大学や前任地では定位放射線治療（ガンマナイフ）に携わり、現在も治療に従事しています。また、産官学医工連携で地元企業や公的機関と一緒に神経内視鏡の機器開発をしています。

小学校6年より高崎に在住しており、大学・大学院は群馬大学医学部卒業です。大学院では脳虚血モデル研究を行っていました。

最後に、診療においては無為自然を基本とした必要最小限の治療法を第一義として提案してゆきます。地元医療機関とは各々の特色を尊重した役割分担があると考えていますので積極的に紹介してゆく方針です。よろしくお願い致します。

●脳神経外科

たなか ゆきたか
田中 志岳

2020年4月より呼吸器内科医として勤務しております内田恵と申します。大学までは東北地方で生活しておりました。卒業後に群馬県、これまで前橋市や藤岡市の病院で勤務してきました。呼吸器内科では癌や感染症を始め、幅広い疾患の診断を行っており、一生懸命努めております。

世界情勢により患者さん達はとても不安な毎日で、病院もこれまで以上に変化が必要な時期だと思います。高崎総合医療センターは比較的若いスタッフが多く、フットワーク軽く動くことのできる病院だと考えております。

私も地域の患者さん達に安心して医療を受けて頂けるよう、努力してまいります。患者さんの不安に寄り添い、少しでも気持ちが楽になるような医療を目指したいです。至らぬ点が多いと思いますが、地域の先生方今後ともご指導くださいます様、何卒よろしくお願いいたします。

●呼吸器内科

うちだ めぐみ
内田 恵

地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

医療法人社団 大原病院

院長あいさつ

患者さんの状況に合わせた、質の高い最適な医療サービスを提供できるよう院内外での関係機関との効果的な連携を行い、地域社会に貢献してまいります。



大原病院
院長

大原 葉子



診療科・病院案内

麻酔科・ペインクリニック外科・ペインクリニック内科・
リハビリテーション科・内科・外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~13:00)	●	●	12:30まで	●	●	●	△
午後(15:00~19:00)	●	●	△	●	●	△	△

※ペインクリニック外来・麻酔科・外科は木曜休診

群馬県高崎市飯玉町46 TEL: 027-362-5800

当院には、麻酔科ペインクリニック学会専門医がおり、癌などの疼痛コントロールが必要な方や、腰痛・膝痛・三叉神経痛、各種神経痛などの痛みの治療や運動機能の改善などの短期入院も受け入れております。内科では、頻回吸引・気切後管理等医療依存度の高い方の入院の他に、在宅や施設入所中でも医療を要する時期の短期入院も可能です。また、入院後は患者さんの状態や症状により期間の限りなく長期入院も可能です。理学療法士によるリハビリテーションも行っております。

武井内科循環器科

院長あいさつ

当院は市民の皆様気軽に立ち寄って頂ける健康支援施設としての役割を担う医院を目指しております。皆様のお顔を拝見しながら十分にお話をうかがい、不安や心配を受け止め、少しでもそれらを減らせるよう努めさせていただきます。我々にとっては、当院のドアからお帰りになるときの皆様の笑顔が最高の報酬です。皆様が笑顔で毎日を過ごせるよう、一緒に健康について考え、一番良い方法を探していきましょう。



武井内科循環器科
院長

武井 弘司



診療科・病院案内

内科・循環器科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:45~12:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(16:00~18:00)	●	●	●	△	●	△	△

※13:30~ 往診・検査

群馬県安中市松井田町松井田831-1 TEL: 027-393-1005

みんなが笑顔で健康に暮らせるよう、一緒に考える医院です。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を
実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。



対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 原則として主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、小児科、外科
乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科
泌尿器科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円(消費税込み)

30分以上 11,000円(消費税込み)

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科 名	医師名	専 門	曜 日
内 科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精 神 科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼 吸 器 内 科	中川 純一	呼吸器全般	
消 化 器 内 科	長沼 篤 増田 智之	消化器病一般、肝臓病 食道、胃、大腸	随時
心 臓 血 管 内 科	広井 知歳 太田 昌樹	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療） 不整脈一般	金 水
小 児 科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外 科	小川 哲史 坂元 一郎	消化器外科全般、特に悪性腫瘍の手術 消化器外科全般	木 水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳癌全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金（午前）
心 臓 血 管 外 科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼 吸 器 外 科	伊部 崇史 高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般 肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木 火
脳 神 経 外 科	栗原 秀行 笹口 修男	脳・脊髄腫瘍、脳神経外科全般 脳血管障害	火 木
産 婦 人 科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌 尿 器 科	井上 雅晴	泌尿器科全般	火
眼 科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放 射 線 診 断 科	根岸 幾 佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心 画像診断CT・MR中心	木 火
放 射 線 治 療 科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯 科 口 腔 外 科	稲川 元明 薬師寺 孝	口腔顔面痛 口腔外科全般、顎変形症、インプラント	火、水、木、金 月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 予約のみ 真下 大和	真下 大和 予約のみ	佐藤 正通 (合田 史) 午後：予約専門外来 飯塚 堯	佐藤 正通 真下 大和
栄養食事指導外来		佐藤 正通 午後			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	吉川 将史 (小澤 厚志)	武藤 壮平 吉川 将史 午前	渋沢 信行 午後	武藤 壮平
神経内科	(池田 雅美)	古田 夏海	清水 千聖	古田 夏海	古田 夏海 午前
呼吸器内科	中川 純一 (佐藤 麻里) 午後	内田 恵 (申 悠樹) 午前	増淵 裕朗 午前 板井 美紀	中川 純一 増淵 裕朗	内田 恵 (山口 公一) 午前 (若松 郁生) 午後
消化器内科	長沼 篤 午前 安岡 秀敏 午前 上原 早苗 午前 糸井 祐貴 午前	星野 崇 午前 綿貫 雄太 午前 鈴木 悠平 午前	柿崎 暁 午前 安岡 秀敏 午前 増田 智之 午前 石原 弘 午後 (蘇原 直人) 午前	長沼 篤 午前 (工藤 智洋) 午後 増田 智之 午前 鈴木 悠平 午前	星野 崇 午前 綿貫 雄太 午前 館山 夢生 午前 (岡野 祐大) 午後
内視鏡検査	星野 / 増田 / 岡野	安岡 / 増田	綿貫 / 上原	綿貫 / 糸井	長沼 / 鈴木 / 岡野
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 午前：通常 / 午後：不整脈外来 村田 智行 伊藤 芽以 午前	小林 洋明 高橋 伸弥 (金澤 紀雄) 再来	広井 知歳 太田 昌樹 午後：不整脈外来 羽鳥 直樹 午前	福田 延昭 午前 (金澤 紀雄) 再来 湯浅 直紀	小林 紘生 午前：通常 / 午後：不整脈外来 太田 昌樹 第2, 4週午後：ペースメーカー外来 久野 貴弘 午前
新患外来(午前)	高橋 伸弥	久野 貴弘	村田 智行	羽鳥 直樹	小林 洋明
精神科	井田 逸朗 関谷 樹 午前	井田 逸朗 関谷 樹 午前	井田 逸朗 関谷 樹 午前	井田 逸朗	井田 逸朗 関谷 樹 午前
小児科	五十嵐 恒雄 午前 内田 亨 午後 須田 峻平 午後	五十嵐 恒雄 午後 倉田 加奈子 午前 齋藤 淑人 午後：奇数週のみ (神尾 綾乃) 第4週午後 (西澤 拓哉) 第1, 3, 5週午後	五十嵐 恒雄 午前 倉田 加奈子 午後 佐藤 幸一郎 午後 (滝沢 琢己) 第2, 4週午後 <乳児健診> 午前	藤生 徹 午後 倉田 加奈子 午前 小笠原 聡	五十嵐 恒雄 午後 藤生 徹 午後 佐藤 幸一郎 午前 永井 祐介 午前
小児外科		(西 明・高澤 慎也) 第2, 4週午後			
外科 (消化器)	坂元 一郎 田中 成岳	小川 哲史 成瀬 瑛理子 午前	榎田 泰明 田中 寛	小川 哲史 平井 圭太郎 小川 哲史 小川 祐介(栄養士)	宮前 洋平 星野 万里江
栄養サポート外来				小川 哲史 小川 祐介(栄養士)	
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	第1, 3, 5週午後・予約	
泌尿器科	井上 雅晴	栗原 聰太	(青木 雅典) 午前	井上 雅晴	栗原 聰太

1 外来診療受付時間

8:30 ~ 11:00迄 (予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。

2 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。



地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

() の医師は非常勤です。

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前	鯉淵幸生	鯉淵幸生	(荻野美里) 第2、4週午後	鯉淵幸生 第2、4週午前
	徳田尚子 午前	高他大輔 午前	高他大輔	(中澤祐子) 第1、3、5週午後	高他大輔 午前
		徳田尚子	徳田尚子	交代制 午前・予約	徳田尚子 第1、3、5週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前	茂原淳 午前
				羽鳥恭平 午後	
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行 第2、4週	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒 毅	大澤敏久	荒 毅	新井 厚	大澤敏久
	信太晃祐	齋藤健一	信太晃祐	角田大介	齋藤健一
	角田大介 (古賀康史) 午後	小坂橋佑輔	一ノ瀬 剛	<手術日>	一ノ瀬 剛
形成外科				(牧口貴哉) 第1週	(田村健・竹内誠也) 午後・交代制
				(平井優樹) 第3週	
				(中村英玄) 第2、4、5週	
脳神経外科	和田 元 田中志岳	栗原秀行 午前	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科		(井上千鶴) 紹介・予約			(内山明彦) 紹介・予約
産婦人科	伊藤郁朗	青木 宏	根井ひとみ 午前	(金井眞理) 午前	伊藤郁朗
	永井あや	西村俊夫	(小暮佳代子) 午前	(森田晶人) 午前	青木 宏
	西村俊夫	黒住未央		交代制 午前	永井あや
眼科	土屋 明 紹介・予約	土屋 明	土屋 明	土屋 明	土屋 明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌
	岡宮智史				岡宮智史
放射線治療科	永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約
	大高建 紹介・予約	大高建 紹介・予約	大高建 紹介・予約	大高建 紹介・予約	大高建 紹介・予約
歯科口腔外科	柴野正康 紹介・予約	<手術日>	薬師寺 孝 紹介・予約	薬師寺 孝 紹介・予約	<手術日>
新患外来	薬師寺 孝 紹介・予約		前山恵里 紹介・予約	柴野正康 紹介・予約	
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1、3、5週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約	稲川元明	稲川元明	稲川元明 紹介・予約
	木村将典 紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約	木村将典	木村将典	倉持真理子 紹介・予約
	倉持真理子 紹介・予約	(荒井亮・辻野啓一郎) 第2、4週のみ、紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約		

(令和3年1月1日現在)

3 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

4 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長室だより

vol.66

2021年からの日本

2020年はコロナで始まり、コロナの感染の急激な増悪で終わりました。政治の無策ぶりはあきれられるばかりですが、日本の歴史を振り返ってみると、災害、戦争、感染症と戦って来た歴史だと思います。私は時々なんでこんな国に生まれたんだろうかと思うことがあります。日本ほど自然災害の多い国は少ないのです。地震が実に多く、震源地が海の中なら当然津波になり、火山が噴火し、それだけでは足りないかのように台風、局部的豪雨があります。外国の人、特に欧米の人達から見ればよくこんな国土で我慢して生きて来たと思っていることでしょう。

ただ一方で、多分いいところもあったのだろうし、これが自分達の精神を作ったんだろうと思います。

先の見透せない現在の状況の中で、自分はなぜ生きているのか、価値観とは何か、広く考えれば日本とはどういう国で、歴史の流れと、個人の人生の一回性との関わりをどう理解するかを考えるいい機会だと思います。

ヨーロッパの文化は、いくつもの局面を持つ文化全体が1つのシステムになっています。つまり、文学なら文学のことしか知らない専門家がいるのではなくて、その専門家は美術についても、音楽についても、建築についても、何かしら知識と意見を持っているのです。そうやってつながったものとしてヨーロッパ全体の文化はあると考えられます。

それに対して日本では、その結合が崩れてしまっていて、他の分野のことは知らないし、興味もない。日本の専門家は細分化され、たこつぼ状態になっています。この日本とヨーロッパの違いは大きいと思います。その背後には文化全体を支える、あるいは人の生き方を支える、普遍の原理があるのではないかと思います。その原理にのっとって、自分の身を律して人は生きているのではないのでしょうか。

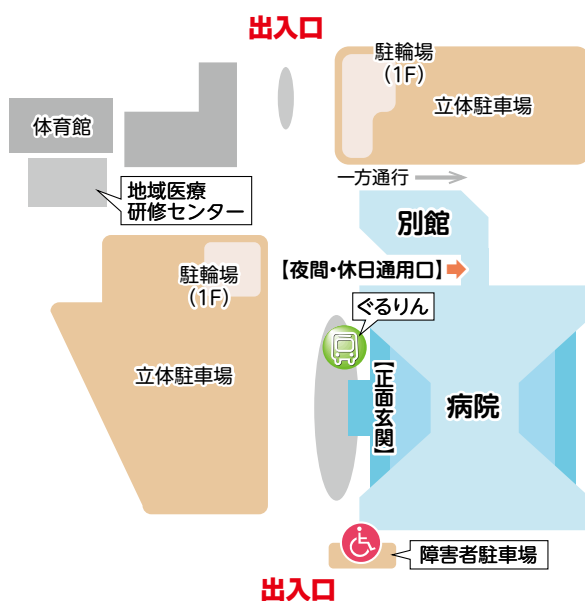
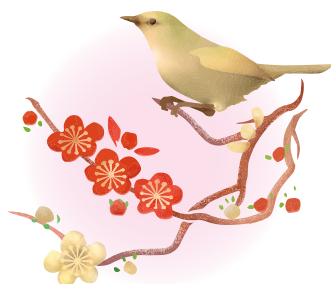
自分が、あるいはその他が個人として立って自分の意見を述べて、それで世の中と付き合い合っていくとする知識人達は、日本的な集団主義から離れていなければ、そういう生き方はできません。福沢諭吉が言ったように「個人の独立なくして、国の独立はなし」です。

2021年からの日本も世界も明るい未来はまだ見えませんが、個人個人の価値観をしっかりと考えるいい機会だととらえて生きていければと思っています。

15世紀の日本も応仁の乱を中心とした動乱、疫病の流行の中で、あの素晴らしい一休宗純を生んだのです。



病院長 石原 弘

高崎総合
医療センター
案内図

出入りについて

平日7時30分～17時15分は
正面玄関を
ご利用ください。

平日17時15分～翌朝7時30分、
土日祝日は
夜間・休日通用口を
ご利用ください。

編集室より

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)



独立行政法人・国立病院機構

高崎総合医療センター